

兵庫県立尼崎小田高等学校 SSH 事業概念図

1期 (H17~21)	2期 (H22~26)	3期 (H27~R元) 経過措置 (R2)
-------------	-------------	-----------------------

[1期~3期で育成を目指してきたベースとなる4つの力]
 論理的思考力 | 表現力 | コミュニケーション力 | マネジメント力

[1期~3期の主な研究成果]

- 全校的な探究活動の確立
SR科 (1期~)「探究Ⅰ」「探究Ⅱ」「探究Ⅲ」
国際探求学科・普通科 (2期~)「総合的な学習の時間」の活用
- 大学や行政機関との連携による環境や防災等の課題を重視した探究活動
- 京都大と連携した探究活動の評価方法の研究・実践
ルーブリックの開発及び実際の評価実践

[生徒・教員・卒業生へのアンケートにみる成果]

	1期	→	3期
(生徒) 自然科学に対する関心・知識が高まった	75%	→	91%
本校を希望した理由はSSH校だから	53%	→	71%
(教員) 学ぶ力や考える力を得られるよう授業を工夫	73%	→	81%
(卒業生) SSH校での経験が専攻分野・職業選択に強く影響を与えた	本校 40.9%	>	SSH校全体 21.0%

重点枠 (H26~29、H30~R元) 交流会支援 (R2)

[高校生サミット参加生徒アンケート]

	H26~29	H30	R元	R2
地域課題にさらに取り組みたい	81%	→ 86%(+5)	→ 91%(+5)	→ 98%(+7)

[令和元年度参加生徒及び関係機関の方へのアンケートの比較]

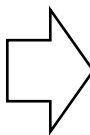
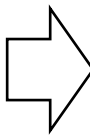
(生徒)・高校生同士の交流は刺激になった 98%
 (関係機関の方)・今後もこの取組に協力したい 98%
 ・この取組で生徒にはどんな力が身についたか (複数回答可)
 コミュニケーション力 79% プレゼンテーション力 71%
 探究心 57% 考察力 50% 問題解決力 29% 分析力 29% 等

[令和2年度対面・オンライン参加生徒の比較]

差がなかった項目 (対面・オンライン)
 地域課題への興味関心向上 (97%・96%) ※オンラインは一定の効果あり
 内容は自分なりに理解できた (97%・96%)
 差があった項目 (対面・オンライン)
 課題発見する方法が学べた (94%・61%) ※考察の深まりはやや少ない
 自分の課題研究の応用できる学びがあった (100%・74%)
 コミュニケーションが難しい (25%・70%)

[連携校のレベルアップと共同での評価の実践研究]

- 協働活動をベースに各校の研究も切磋琢磨してレベルアップ
学会での入賞、国際会議での発表 → 「チーム尼小田」の成果
- 学校の枠をこえた共同での評価の実践研究
→信頼性・汎用性ある評価方法の確立



4期 (R3~R7)

[研究開発課題]
 「探究的学びの深化により学際的課題を解決できるシェアド・リーダーシップをもつ人材育成」

[4期で育成を目指す実践的な4つの力]
 <STEP 1> 多様な視点で見る力・課題設定する力 → <STEP 2> 深く洞察し解決する力 → <STEP 3> 協働で参画する力
 予測不可能な社会に対して持続可能性を構築するため、シェアド・リーダーシップをもつ人材育成

[研究開発内容]

- 3期16年及び4期の成果の発信・周知
- 探究活動の質の向上と新学習指導要領における探究科目の実践的モデル化
- 各教科での探究活動を取り入れた授業改善と教科横断型のSTEAM教育
- 大学や行政機関等との連携による地域課題の解決に向けた貢献や参画
- 汎用性ある評価方法の確立と探究活動が学力向上に結びつくことの科学的立証
- 国際機関との連携や留学生の参加等による多様な視点を持った英語での議論
- オンライン等のICTの積極的活用による新しい探究活動の実施と検証

[4期での新たな取組]

<探究的学びの進化>	<成果の発信・普及>…4期目のミッション
探究科目の改編 → 課題研究を軸とした人材育成の向上	教科における探究活動事例集
リサーチサポート → 課題研究の質の向上	尼小田版探究活動マニュアル
国際機関との連携 → 多様な視点と英語で議論できる力	→ 基幹校となり県下の学校へ普及
オンライン活用 → 新しい探究活動や広域連携の発展	※県教育委員会とも連携
探究活動が教科の学力に及ぼす影響の研究	→ 探究活動が教科の学力に結びつくことの科学的立証

重点枠 [テーマ]「多様な広域連携によるSTEAM教育を通して地域課題解決に取り組める人材育成」

日本の縮図兵庫から日本を考える

連携校A
 瀬戸内海の連携校 海洋問題の取組

連携校B
 兵庫県下連携校 様々な校種 (STEAM教育につながる連携)
 【多様な地域の広域連携】
 瀬戸内海・日本海 都市部・山間部 里山・里海
 【STEAM教育につながる様々な校種と機関】
 普通科・総合学科・職業科
 行政・大学・研究機関・企業・地域

兵庫県

多様な視点の育成